

平成23年度

糸島市教育委員会の点検・評価に関する報告書

平成24年10月  
糸島市教育委員会

## 目 次

- 1 点検・評価の趣旨
  - 2 教育委員の活動状況
  - 3 施策の取組状況
    - 総括表
    - 点検及び評価シート
  - 4 点検・評価に関する学識経験者からの意見
  - 5 資料
    - 教育委員会委員名簿（平成24年3月31日現在）
- 平成23年度糸島市教育委員会組織機構図

## 1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することになりました。

このことを受け、糸島市教育委員会では、教育委員の活動状況や毎年度策定する「糸島市教育基本方針」に掲げる主要施策をもとに点検・評価を実施し、報告書としてまとめました。

糸島市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進と住民への説明責任を果たしていくため、より一層の教育委員会の充実に努めてまいります。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 教育委員の活動状況

### 教育委員会会議、学校訪問等の状況

期 日	会議・行事等	備考
4月1日	教職員赴任式	
4月8日	中学校入学式	
4月12日	小学校入学式	
4月28日	4月定例教育委員会	
4月22日	福岡県市町村教育委員会連絡協議会総会	福岡県庁
5月19日	女性教育委員研修会	吉塚合同庁舎
5月20日	5月定例教育委員会	
6月21日	前原南小 学校改善訪問	
6月22日	引津小 学校改善訪問	
6月23日	可也小 学校改善訪問	
6月24日	6月定例教育委員会	
6月28日	波多江小 学校改善訪問	
7月5日	深江小 学校改善訪問	
7月6日	前原中 学校改善訪問	
7月8日	前原東中 学校説明会	
7月29日	7月定例教育委員会	
8月24日	女性教育委員研修会	福岡リーセントホテル
9月15日	教育委員人権教育研修会	吉塚合同庁舎
9月29日	9月定例教育委員会	
10月21日	10月定例教育委員会	
11月16日	管理職任用候補者面接	
11月17日	管理職任用候補者面接	
11月21日	11月定例教育委員会	
12月22日	12月定例教育委員会	
1月23日	1月定例教育委員会	

期日	会議・行事等	備考
1月25日	教育委員長研修会	リーセントホテル
2月21日	2月定例教育委員会	
2月22日	新任教育委員研修会	吉塚合同庁舎
3月2日	臨時教育委員会	
3月15日	中学校卒業式	
3月16日	小学校卒業式	
3月28日	3月定例教育委員会	
3月30日	教職員離任式	

平成23年度 教育委員会審議案件一覧表

議案番号	議案名	備考
議案第1号	糸島市青少年育成指導員の委嘱について	第1回
議案第2号	糸島市立公民館運営審議会委員の委嘱について	第1回
議案第3号	糸島市指定文化財の指定について	第1回
議案第4号	糸島市子ども読書活動推進計画策定委員会設置規程の設定について	第2回
議案第5号	平成24年度使用中学校教科用図書の採択について	第4回
議案第6号	糸島市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について	第5回
議案第7号	糸島市図書館条例施行規則の一部を改正する規則について	第5回
議案第8号	糸島市図書館運営委員会設置規程の一部を改正する告示について	第5回
議案第9号	糸島市立図書館サービス基本計画検討委員会設置規程について	第7回
議案第10号	糸島市教育基本方針の改定について	第10回

議案番号	議 案 名	備考
議案第11号	平成24年度糸島市一般会計当初予算案作成における教育に関する事務に係る部分の意見聴取について	第10回
議案第12号	平成24年度糸島市立小・中学校校長、副校長及び教頭の人事異動内申について	第10回
議案第13号	平成24年度糸島市立小・中学校教職員の人事異動内申について	第10回
議案第14号	糸島市指定文化財の指定について	第10回
議案第15号	糸島市特別支援学校就学補助金交付規程の一部を改正する告示について	第10回
議案第16号	糸島市教育委員会事務局職務執行基本規則の一部を改正する規則について	第12回
議案第17号	糸島市立公民館運営審議会規則の一部を改正する規則について	第12回
議案第18号	糸島市立伊都国歴史博物館条例施行規則の一部を改正する規則について	第12回
議案第19号	糸島市体育指導委員規則の一部を改正する規則について	第12回
議案第20号	糸島市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部を校長に委任する規程について	第12回
議案第21号	教育委員会が管理する公の施設における宿泊を伴う利用の許可基準に関する規程について	第12回
議案第22号	スポーツ推進委員の委嘱について	第12回

#### 平成23年度 教育委員会臨時代理報告案件一覧表

報告番号	報 告 案 件 名	備 考
報告第 1号	糸島市青少年育成基金補助金交付規程について	第1回
報告第 2号	糸島市社会教育委員の委嘱について	第1回
報告第 3号	糸島市立公民館運営審議会委員の委嘱について	第2回
報告第 4号	糸島市社会教育委員の委嘱について	第3回
報告第 5号	糸島市青少年育成指導員の委嘱について	第3回

\* その他協議案件、報告案件あり。

### 3 施策の取組状況

#### 【 総括表 】

##### 1. 「生きる力」を育む学校づくり

「確かな学力」を育成する教育の充実	B
①学力向上事業	
②九州大学との連携事業	
「豊かな心」を育成する教育の充実	B
①小中学校連携事業	
②個に応じたきめ細かな生徒指導事業	
「健やかな体」を育成する教育の充実	A
①健やかな体をつくる食育の推進事業	
②健康・安全教育の推進事業	
「特別支援教育」の充実	A
①特別支援教育推進体制の充実事業	
「信頼される学校づくり」の充実	B
①人権教育推進事業	
②学校評価推進事業	
今日的課題に対応した教育の充実	B
①課題解決事業	
学校教育を支える基盤の充実	A
①学校施設整備の推進事業	

##### 2. 生涯学習推進のための環境づくり

生涯学習環境の整備・充実	A
① 生涯学習情報の提供	
② ボランティア活動の推進	
青少年の健全育成	A
① 青少年健全育成に向けた環境整備	
生涯学習機会の充実	B
① 地域の拠点としての公民館活動の展開と施設の整備	
図書館サービスの充実	A
① 図書館サービスの環境整備	
② ボランティアの育成	

### 3. スポーツ・レクリエーションの振興

#### スポーツ・レクリエーション施設の整備充実

① スポーツ施設の充実

B

② 学校施設開放の推進

#### 生涯スポーツの振興

① スポーツ人口の拡大

B

### 4. 文化・芸術のまちづくり

#### 文化施設の整備・充実・活用

① 文化施設の活用事業

B

#### 史跡の整備・活用

① 市内遺跡等発掘調査事業

A

#### 文化財の保護・活用

① 文化財の保護・活用事業

B

#### 文化・芸術の振興

① 文化振興事業

B

#### 評価について

A	効果が上がっている
B	概ね効果が上がっている
C	あまり効果が上がっていない
D	改善の必要がある

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「確かな学力」を育成する教育の充実
2 事業名	①学力向上事業 ②九州大学との連携事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	学力向上プランの作成・実施・評価・改善を図りながら、子どもたちの基礎・基本の確実な定着を図る。 子どもたちの学ぶ意欲や授業力の向上を図るためにの九州大学との連携事業の在り方を究明する。
5 事業の内容	○学力向上のための校内推進体制の充実 ○学ぶ意欲や学習規律・学習習慣の育成 ○九州大学等との連携による教育の充実
6 取組状況	学力向上プランについては、全ての学校・学年並びに学級で作成し、評価改善を図りながら子どもたちの学力向上に役立てている。また、市教委としても、教務主任研修会・学力向上コーディネーター研修会等の各種研修会で子どもの学力向上を図るためにの授業改善に学校全体で組織的に取り組む方策の紹介等を行った。 九州大学との連携事業については、伊都塾（質問教室）を夏季休業期間中に小学校6年生及び中学校3年生の希望者に対して4日間実施し、子どもたちの学習への意欲や関心、さらに新学期に向けての学習意欲を高めるよう取り組みを行った。また、九州大学教育学部との連携事業では、学校のニーズと大学のニーズを踏まえた連携事業を行った。
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>全国学習状況調査の結果やCRT（小学校学力実態調査）・NRT（中学校学力実態調査）の調査結果を見ると、昨年度と比較し全般的に向上を見ることができる。また、QU（学校満足度）調査結果を見ると、満足群に位置する児童生徒の割合は、昨年度と同様に全国平均より高く、不満足群に位置する児童生徒の割合が大変少ないという結果が出ており、学力向上の取り組みの成果が現れている。</p> <p>■課題</p> <p>さらなる学力向上を図るために、学校の課題に応じた組織的な改善と教師の指導力の向上と支援に努める。 学校間格差の解消に向けた取組が必要である。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「豊かな心」を育成する教育の充実
2 事業名	①小中学校連携事業 ②個に応じたきめ細かな生徒指導事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	子どもたちの規範意識の向上と不登校の予防・改善に向けて、小中学校の接続を円滑に行うための情報収集・活用等の教育活動の充実を図る。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心に響く道徳教育の充実</li> <li>○個に応じた細やかな生徒指導の充実</li> <li>○教育相談の充実</li> </ul>
6 取組状況	<p>子どもたちの規範意識を高めるために、道徳教育推進教師の積極的な活用を行うように教育かわら版（市教委から学校へのお便り）で、他校の道徳教育推進教員の活動状況を紹介したり、本年度は基礎講座研修会で志摩中学校の授業公開を行った。</p> <p>小中学校連携事業では、糸島市の課題でもある学力と生徒指導のバランスを踏まえた改善に向け、各中学校区で取組も盛んに行われている。また、本年度も引き続き糸島市教育センター事業に小中学校連携事業を取り入れた。</p> <p>小中学校のいじめや不登校への対応に限らず、保護者からの相談も積極的に行なうなど家庭教育の支援も行っている。</p> <p>平成22年度から平成23年度にかけての不登校児童生徒数は若干減少しているが、今後も不登校等への対応の充実を図る必要があるため、検討を行い平成24年度から2名のスクールソーシャルワーカーを配置することとした。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>小中学校連携事業を推進することで、小学校の問題を中学校の教師が関わりを持って解決することができるようになってきた。</p> <p>小学校から中学校へスムーズに接続するための連絡調整システムが整いつつある。</p> <p>■課題</p> <p>中学校における道徳の時間の指導を工夫する。</p> <p>小中学校連携事業の成果や課題を把握するために評価のあり方や生徒指導の充実を検討する。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「健やかな体」を育成する教育の充実
2 事業名	①健やかな体をつくる食育の推進事業 ②健康・安全教育の推進事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	健やかな体を育むための学校と家庭、地域の役割を明確にし、それぞれが責任を果たす。 新体力テスト等の結果や各種事業の活性化を図る。
5 事業の内容	○健やかな体をつくる食育の推進 ○体力の向上と文化・体育活動の活性化 ○健康・安全教育の推進
6 取組状況	<p>市内すべての小中学校で「食に関する指導の全体計画」を作成し、食育に関する授業改善が積極的に行われている。また、家庭や地域が連携した「早寝・早起き・朝ご飯」運動を推進している。</p> <p>本年度は前原小学校で給食食器を強化磁器製に入れ替え、米飯給食の回数を週4回に増加させることとしている。</p> <p>新体力テストの結果を反映させた授業改善を行うと共に、運動部活動について外部指導者を積極的に活用した事業を展開している。</p> <p>また、平成24年度から中学校において武道が必修化されることに伴い、市内中学校の保健体育担当者による会議を開催し、従前の実施状況、設備、指導体制等の観点で詳細な事項の検討を行った。</p> <p>地域や学校の実態に応じた薬物乱用防止教育や性教育・エイズ教育などについても年間計画に位置づけ実施している。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>新体力テストの結果については、全国平均よりは低いものの県平均より高くなっている。また、中学校段階でよい結果を示している。これは、小学校段階での基礎・基本的な運動の定着と家庭における食育の推進、さらに、中学校での運動部活動の加入状況が高いことがひとつの根拠として考えられる。</p> <p>■課題</p> <p>食育の基本は家庭であり、学校で身についた食に関する教育の実践の場として、家庭とのさらなる連携が求められる。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「特別支援教育」の充実
2 事業名	①特別支援教育推進体制の充実事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	<p>各学校の特別支援コーディネーター研修の実施や支援計画の作成による校内体制の充実を図る。</p> <p>特別支援教育支援員の配置によるきめ細かな指導の充実を図る。</p> <p>通級学級における特別な教育的ニーズのある児童への指導の充実を図る。</p>
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育推進体制の充実</li> <li>○特別支援学級、通級指導教室における指導の充実</li> </ul>
6 取組状況	<p>各学校の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会や特別支援教育支援員に対する研修会を実施し、役割や校務内容について説明、指導を行った。</p> <p>「個別指導計画」「個別の教育支援計画」に基づいた指導を行えるように学校訪問等を通して直接指導を行っている。</p> <p>きめ細かな指導を行うために、小中学校に特別支援教育支援員を配置している。</p> <p>東風相談や巡回相談を活用し、特別支援教育についての相談等を行える機会を設定している。</p> <p>東風小学校内に特別支援教育に係る通級指導教室を設置し、様々な教育ニーズに応じた指導を行うとともに、中学校においても設置できるよう県に要望を行った。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>特別支援教育支援員の配置数を小学校では20人、中学校では8人の配置を行い、学校の実態に応じた支援体制の整備に努めた。</p> <p>東風相談の充実を図るとともに、東風小学校に設置している通級指導教室については、6小学校から14名の児童が利用しており、合併に伴った総合的な施設の利用が可能となった。</p> <p>■課題</p> <p>支援を必要とする子どもの増加に伴い、きめ細かな支援の在り方について、検討する必要がある。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「信頼される学校づくり」の充実
2 事業名	①人権教育推進事業 ②学校評価推進事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	人権が尊重される「学習活動」「人間関係」「環境」づくりの充実を図る。 学校評価を生かした学校改善と結果の公表の実施を図る。 教職員の実践的指導力の向上を図るため、校内研修の支援並びに糸島市教育センター事業の充実を図る。
5 事業の内容	○人権・同和教育の充実 ○開かれた学校づくりの推進 ○教職員の実践的指導力を高める人材育成の充実
6 取組状況	人権が尊重される学校づくりを進めるために、同和教育副読本「かがやき」人権教育学習教材集「あおぞら」の計画的な活用をはじめ、各学校で道徳の時間の授業参観等を積極的に行っている。 学校評価の評価結果を踏まえた学校課題の重点化を図り、その課題解決に向けて学校組織が連鎖しながら改善に関わるように取り組んでいる。 各学校の校内研修に指導主事が積極的に参加し、具体的な改善策について指導を行い、教職員の実践的指導力の向上を図りながら人材育成を進めている。
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>すべての学校で同和教育副読本や人権教育学習教材集を活用した年間活用計画が作成され実施されている。</p> <p>学校評価を人材育成や学校改善のツールとして活用している学校が増加している。</p> <p>■課題</p> <p>学校関係者評価結果の生かし方について、工夫する必要がある。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	今日的課題に対応した教育の充実
2 事業名	①課題解決事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	<p>I C T の充実や情報の収集並びに課題解決に向けての研修の充実を図る。</p> <p>情報活用及び情報活用モラルの基礎的な資質や能力の育成を図る。</p> <p>小学校「外国語活動」の充実を図る。</p>
5 事業の内容	<p>○情報教育推進事業</p> <p>○小学校「外国語活動」推進事業</p>
6 取組状況	<p>電子黒板・大型液晶テレビの活用方法を普及発展するための活用事例集を作成し、各学校で利用促進を図るとともに、学級数の増減に伴い、大型液晶テレビ3台を他の学校に移管し有効活用を行った。</p> <p>環境・福祉などの課題については、関係部署及び外郭機関と連携を図った授業展開を行った。</p> <p>学校図書館教育の推進のために、各学校に学校司書を配置し、図書室環境の整備充実を図るとともに、学期毎に学校司書研修会を開催し、学校司書の資質を向上させ、本に親しみをもつ子どもたちを増加させた。</p> <p>小学校教員の外国語活動における指導力の向上を図るために研修会を実施し、モデル授業の参観や指導方法の交流を行った。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>電子黒板や大型液晶テレビを活用した授業が、日常化され始め有効活用されている。</p> <p>関係機関と連携した授業を行うことで、小学校「外国語活動」、税や環境についての指導力を高めることができた。</p> <p>各学校も学校司書を配置することにより図書室の環境整備を進めるとともに学校司書の資質の向上を図ることにより、図書の貸出数が増加するなど、図書への関心を高めることができている。</p> <p>■課題</p> <p>今日的な課題が多面的になり、その解決を図るために時間と方法の工夫が必要である。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	学校教育を支える基盤の充実
2 事業名	①学校施設整備の推進事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	安全・安心な教育環境の整備充実を図る
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校施設整備の推進</li> <li>○教育用パソコンの借り換え</li> </ul>
6 取組状況	<p>学校施設等の危険箇所の優先的改修と老朽化している施設の順次改修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校施設改修事業（小規模営繕工事） 小学校77件、中学校22件、計99件</li> <li>○一貴山小学校プール改修事業 平成24年度の改修工事に向けた実施設計業務</li> <li>○前原小学校校舎改修事業 校舎改修工事第1期工事（屋上防水工事等）</li> <li>○長糸小学校屋内運動場大規模改造事業 平成23～24年度で大規模改造工事を実施</li> <li>○前原東中学校校舎大規模改造事業 平成22～24年度で大規模改造工事を実施</li> <li>○小中学校コンピュータ整備事業 前原、二丈地区の小中学校19校の教育用パソコンリース既存パソコンの借り換え。期間は平成23～27年度</li> <li>○給食食器等入替事業 アルマイト食器を強化磁器食器に入替 洗浄機、消毒保管庫等の関連備品の入替</li> </ul>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果 市長マニフェストによる、学校施設のリニューアル（一般財源2億5千万円ベースのハード事業）の実施により、少しづつではあるが施設の改善ができた。</p> <p>■課題 老朽化に伴う改善が必要な施設が数多く存在しており、毎年2億5千万円の一般財源予算では、老朽化したすべての学校施設をリニューアルすることはできない状況である。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	生涯学習環境の整備・充実
2 事業名	①生涯学習情報の提供 ②ボランティア活動の推進
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	市民の多様なニーズに応え、「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べるよう生涯学習環境の整備・充実を体系的に進める。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生涯学習情報誌の発行</li> <li>○ 出前講座の実施</li> <li>○ ボランティア情報の一元化</li> <li>○ ボランティア派遣事業の実施</li> <li>○ ボランティア・市民活動団体等の支援</li> </ul>
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習情報誌の発行 H23年6月、各種イベントや講座・教室、サークル・ボランティア団体紹介、生涯学習関連施設等を掲載した情報誌を発行(1,300部) 庁舎や公民館等公共施設にて配布</li> <li>○出前講座の実施 市役所62、消防本部4、関係機関25の各メニューを設定し延べ410講座開催、14,360人受講(関係機関分除く)</li> <li>○ボランティア情報の一元化 地域振興課が所管する糸島市NPO・ボランティアセンターを主体に、糸島市社会福祉協議会、糸島市ボランティア派遣事務局のデータを収集し、市ホームページ上に公開</li> <li>○ボランティア派遣事業の実施 ボランティア派遣事業運営委員会に事業委託。542回、延べ1,454名を派遣</li> <li>○ボランティア・市民活動団体等の支援 文庫活動計15団体に補助金交付</li> </ul>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>出前講座受講者数やボランティア派遣実績については、順調に数を伸ばしている。</p> <p>ボランティア情報一元化については、登録様式を統一し、事務の簡素化、効率化が図られた。</p> <p>■課題</p> <p>生涯学習環境や情報、活動状況については、旧市町での差異が感じられるため、今後、更なる情報発信により、各種事業や活動団体等の周知を図る必要がある。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	青少年の健全育成
2 事業名	① 青少年健全育成に向けた環境整備
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	時代を担う青少年たちが、心豊かに、広い視野で、高い志を持って、たくましく成長することを願って、健全育成事業を実施する。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青少年育成市民会議・校区民会議の充実</li> <li>○ 学校・家庭・地域の連携強化</li> <li>○ 社会教育委員及び関係団体の連携強化</li> <li>○ 若者の体験・交流推進事業</li> </ul>
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年育成市民会議・校区民会議の充実 H23. 6. 30 糸島市青少年育成市民会議総会開催。校区民会議により地域の特性を生かした様々な活動を行っている。</li> <li>○学校・家庭・地域の連携強化 青少年育成指導員を各校区に1名配置（人口1,000人以上の行政区は2名）。現在、196名に委嘱し、夜間巡回、青バト巡回等を実施。 H24. 1. 14 「福岡地区教育力向上福岡県民フォーラム」を地元開催</li> <li>○社会教育委員及び関係団体の連携強化 「福岡ブロック社会教育委員研修会」を地元開催 PTA活動団体等、計32団体に補助金交付</li> <li>○若者の体験・交流推進事業 小学5～6年生を対象とした「ドリームトレイサー2011」を実施。年6回、計10日間の事業により児童に様々な体験をさせている。事業例…九重キャンプ、ものづくり、ウォーキング、ミニ運動会、野外調理など 中・高校生を対象とした「ジュニアリーダーズクラブどんぐり」を実施。年10回、計13日間の事業により生徒に様々な体験をさせている。事業例…キャンプ、姫島探索、お菓子作り、ナイトハイク、野外調理など ジュニアリーダーの育成 中学生を対象に「ジュニアリーダー研修」を実施。年3回、計5日間の研修により、リーダーとしての理論、技術を学んでいる。15名が修了。</li> </ul>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>青少年育成校区民会議や青少年育成指導員については、活動の活発化が見られる。青少年体験事業等は、徐々に市内全域に拡がりを見せ各校区からの参加が見られた。</p> <p>■課題</p> <p>校区によって活動状況について差異を感じられるため、各校区での事例研究などにより、活動の活発化が望まれる。</p> <p>青少年体験活動やジュニアリーダーの育成については、旧市町で事業の認知度に差異があるため、積極的な情報発信が必要である。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	生涯学習機会の充実
2 事業名	①地域の拠点としての公民館活動の推進と施設の整備
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	生涯学習推進のため、利用者の立場に立った公民館運営、施設を充実させる。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九州大学等の連携による生涯学習の充実</li> <li>○地域の拠点としての公民館活動の推進</li> <li>○生涯学習施設の整備</li> </ul>
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九州大学等の連携による生涯学習の充実 平成23年度は16館中、14館で九州大学との連携事業を実施した。</li> <li>○地域の拠点としての公民館活動の推進 地域団体・社会教育関係団体・学習サークル等へ自主運営等の指導・助言 「公民館だより」等の情報発信の充実</li> <li>○生涯学習施設の整備 波多江公民館の整備事業への着手</li> </ul>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画にもある九州大学の知力と若い力を生かした公民館講座の実施ができた。</li> <li>・毎月の公民館だより発行により市民への情報発信の充実ができた。</li> <li>・地域からの要望でもあった、老朽化、また校区人口に対して小規模である波多江公民館の整備事業に着手できた。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの維持・強化を図るため、各種団体等へ自主運営の支援等を行っているが、今後も必要である。</li> <li>・市HPを活用した情報発信を、より積極的に行う必要がある。</li> <li>・築25年以上の老朽化した公民館の改修計画について検討する必要がある。</li> </ul>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	図書館サービスの充実
2 事業名	①糸島市立図書館の利用促進 ②図書館サービスの充実 ③読書推進計画の策定
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	市民の教育と文化の発展に寄与するため、資料の提供を通して市民の「知る権利」を保障し、生涯にわたる自己学習に資するよう図書館サービスの充実を総合的に進める。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○二丈・志摩庁舎を活用した図書館整備</li> <li>○支所・分庁方式廃止後の図書館サービスの検討</li> <li>○読書ボランティアとの連携及び活用</li> <li>○資料の収集及び提供</li> <li>○読書推進計画の策定</li> </ul>
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○二丈・志摩庁舎を活用した図書館整備 平成23年10月から二丈館と志摩館を開設、図書館3館体制とした。貸出冊数で半年間で前年比31.1%の増。</li> <li>○支所・分庁方式廃止後の図書館サービスの検討 糸島市立図書館サービス基本計画検討委員会を発足。これから図書館のあり方及び方向性を検討しており、今後、基本計画を策定する。</li> <li>○読書ボランティアとの連携及び活用 市民の読み聞かせボランティアへの关心・要望に応えるため、講演会と講座合わせて4回開催。延べ85名参加。参加者の中から、定例おはなし会の講師を依頼。また、子どもの読書ネットワーク糸島（団体17個人11）主催で講演会やおはなし会を開催。</li> <li>○資料の収集及び提供 3館体制による本の物流により蔵書約210,000冊の中から、近くの図書館で貸出・返却及び予約が可能となった。（予約リクエストも前年対比67%の増）</li> <li>○読書推進計画の策定 本市の子どもの読書活動を推進するため、委員会を発足し子どもの読書活動推進計画を策定中。</li> </ul>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>図書館の貸出冊数は、3館体制になり順調に伸びている。また、ボランティアの育成を始め、主催事業も好評で一定の成果があった。</p> <p>■課題</p> <p>支所廃止後の図書館のあり方も含め、糸島市全体の図書館サービスの計画を策定する必要がある。また、二丈館と志摩館の利用者を増やす施策を展開することが必要である。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	スポーツ・レクリエーション施設の整備充実
2 事業名	①スポーツ施設の充実 ②学校施設開放の推進
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	誰もがいつでも、どこでも気軽に参加できる条件整備を図る。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育に支障のない範囲で、小中学校体育施設を地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放</li> <li>○ 市民のニーズに合った運動施設の整備と、既存施設の合理的活用</li> </ul>
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育に支障のない範囲で、小中学校体育施設を地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校開放施設は公民館において調整会議を開催し、利用者の希望に沿った利用ができるよう調整している。</li> <li>・中学校開放施設は、生涯学習課において利用の調整を行い、利用者の希望に沿った利用ができるよう調整している。</li> </ul> </li> <li>○市民のニーズに合った運動施設の整備と、既存施設の合理的活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内体育施設及び学校開放施設利用者のニーズに合った備品整備を行っている。</li> <li>・計画的な体育施設の改修</li> </ul> </li> </ul>
7 成果と課題、今後の方向性	<p><b>□成果</b>          学校開放施設は中学校施設（75団体）、小学校施設（172団体）を併せて247団体が利用している。          ・実施計画に併せ、体育施設の改修を行っている。</p> <p><b>■課題</b>          スポーツ種目・団体の多様化に伴い、施設数及び備品が不足している。今後、計画的な整備を行っていく。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	生涯スポーツの振興
2 事業名	① スポーツ人口の拡大
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	市民の誰もが生涯にわたってスポーツに親しめるようスポーツの振興を図る。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュースポーツの指導普及</li> <li>○ 青少年スポーツ、高齢者スポーツの取り組み</li> <li>○ 体育協会による各種大会の開催</li> </ul>
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュースポーツの指導普及           <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブや小学校のレクリエーション等、体育指導委員によるニュースポーツ</li> <li>・軽スポーツの指導普及を行っている。</li> </ul> </li> <li>○ 青少年スポーツ、高齢者スポーツの取り組み           <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年スポーツとして、スポーツ少年団等の指導育成を行っている。</li> <li>・健康づくり課主催のしあわせ教室など、高齢者を対象としたニュースポーツの指導・普及を体育指導委員により行っている。</li> </ul> </li> <li>○ 体育協会による各種大会の開催           <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会主催の糸島市体育大会、スポーツフェスティバルを開催、及び各競技団体の大会開催の後援を行っている。</li> </ul> </li> </ul>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>体育指導委員会で小学生を対象としたニュースポーツ指導を20回開催、高齢者学級やしあわせ教室など年間10回を体育指導委員で対応した。</p> <p>■課題</p> <p>今後、ニュースポーツの指導の依頼が増えた場合は、ボランティア派遣事務局と協同し事業を進める。また、高齢者を対象としたニュースポーツの指導回数12回以上に増やし、用具・備品の整備を行う。</p> <p>大会の開催はもとより、糸島市体育協会組織の充実、会員数を含めスポーツ人口を平成27年度までに20%アップを図る。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	文化施設の整備・充実・活用
2 事業名	①文化施設の活用事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	<p>市民が文化に親しみ、文化活動に参加することができる環境整備と市民参加の活動や交流、企画の充実を図り、文化芸術に触れる機会を提供する。</p> <p>糸島市の文化的ブランドである「伊都国」を核に、糸島に残る多様な歴史遺産を活用して、伊都国歴史博物館を拠点とした歴史文化のまちとしてのイメージ作りを行う。</p>
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伊都国歴史博物館等施設の充実と活用を図る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画、展示及び調査研究の充実</li> <li>・小中学校、公民館等地域の教育活動との連携の推進</li> </ul> </li> <li>○伊都国歴史博物館の機能の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館ボランティアの育成と活用</li> <li>・博物館資料を活用した講演会、講座の充実</li> </ul> </li> </ul>
6 取組状況	<p>展示事業の特別展は、市民の関心が高い邪馬台国の時代の北部九州の遺跡や文化財を取り上げた「邪馬台国を支えた国々」展を開催し、5,000人を超える入館者があった。</p> <p>企画展として、糸島の原始古代の歴史を紹介した「歴史年表」展、平成22年度の文化財調査の成果を紹介した「伊都国発掘2011」展、武家社会到来期の糸島の様子を紹介した「糸島平家物語」展などを開催し、地域の歴史文化の紹介に努めた。</p> <p>普及活動として、講座は名誉館長講座12回、館長講話12回、特別講演会1回、伊都学8回、とびだせ博物館5回、体験講座7回を開催し、文化財の普及ならびに学習の場の提供に努めた。</p> <p>出前講座として延べ18回、博物館での学校観覧では12回の見学を受け入れ学校教育との連携を行った。</p> <p>また、志摩歴史資料館においても企画展として「端午の節句－長田コレクション－」展、「大戦の記憶－海軍航空隊玄界基地－」展、「ツノゼミと世界の昆虫－九州大学総合博物館巡回－」展、「糸島のひなまり」展を開催した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p><b>□成果</b></p> <p>企画展示では、テーマを原始から近代まで広く設定して、多様な糸島の歴史を紹介し、市民の郷土に関する知識の視野の拡大に努めた。なかでも「糸島平家物語」展では、武家社会到来期の糸島の歴史に光を当てたことから、高い評価をえることができた。</p> <p>地域の教育活動との連携では、小中学校との連携において、出前講座を積極的に展開したことにより、利用率が向上した。また、公民館、市民団体、ボランティアの会が企画する歴史講座についても学芸員を派遣し、積極的に対応した。</p> <p><b>■課題</b></p> <p>2館で年間8回の展示会を開催しているが、現有の学芸員の体制では企画に必要な資料の収集・調査研究の時間が確保できないため、企画の先細りが懸念される。</p> <p>小中学校との連携について、出前講座では、持出し資料の数量に限られるなど、課題も生じている。学校からの来館機会の増加など有効策の検討が必要である。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	史跡の整備・活用
2 事業名	①市内遺跡等発掘調査事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	<p>市内に多く所在する文化財を調査、研究、保存整備する。          文化財の公開や啓発事業の実施によって、文化財を守り郷土を愛する意識を醸成する。</p>
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○糸島市内遺跡の計画的発掘調査の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡指定にむけて行う重要遺跡の確認調査</li> <li>・国県事業や民間の大規模開発に伴う受託事業による発掘調査</li> <li>・開発行為に伴う試掘及び市単独の発掘調査</li> </ul> </li> <li>○指定文化財等の計画的環境整備の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内遺跡整備基本計画策定事業</li> <li>・史跡等用地の公有化事業</li> </ul> </li> </ul>
6 取組状況	<p>重要遺跡確認調査においては、三雲・井原遺跡の発掘調査を実施し、国の史跡指定の資料および今後の遺跡の保存の資料とした。また、今後、整備事業を実施予定の国指定史跡新町支石墓群では先進技術の導入と九州大学との連携として地中レーダー探査による遺構確認調査を実施した。</p> <p>その他、開発事業に伴う発掘調査を行い、遺跡の記録保存を行った。</p> <p>史跡整備のための用地買上げ事業は、国指定史跡新町支石墓群の用地5筆、錢瓶塚古墳（曾根遺跡群）1筆を買い上げた。</p> <p>発掘調査の成果の公開事業として、現地説明会、博物館で速報展「伊都国発掘2011」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内遺跡発掘調査（補助事業）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>三雲・井原遺跡 294m<sup>2</sup></li> <li>志登橋本遺跡 96m<sup>2</sup></li> <li>三雲・井原遺跡基準点設置（3級基準点 20点）</li> <li>井田原開古墳報告書作成</li> <li>吉森遺跡報告書作成（旧二丈町、平成11・12年度発掘調査）</li> <li>出土遺物保存処理（9点、三雲・井原遺跡、泊リュウサキ、潤地頭給）</li> <li>・新町支石墓群史跡用地買上（補助事業）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>5筆 志摩新町60番（245m<sup>2</sup>）、61番（240m<sup>2</sup>）、62番1（230m<sup>2</sup>）、62番2（66m<sup>2</sup>）、63番1（253m<sup>2</sup>）</li> <li>・曾根遺跡群史跡用地買上（補助事業）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1筆 曾根332番2（264.49m<sup>2</sup>）</li> <li>・埋蔵文化財発掘調査（受託事業）                                 <ul style="list-style-type: none"> <li>三雲・井原遺跡（県道瑞梅寺池田線）</li> <li>潤遺跡群（中央ルート関連）発掘調査</li> <li>潤遺跡群（中央ルート関連）報告書作成</li> <li>・市内遺跡発掘調査（市単独）                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道関係他発掘調査・整理作業</li> <li>開発事前調査（138件）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li></ul>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>発掘調査においては、糸島市内遺跡の資料を保存、蓄積した。特に重要遺跡確認調査の三雲・井原遺跡の調査では国指定に向けての基礎資料を追加することができた。</p> <p>■課題</p> <p>市内には未調査、未整備の遺跡が多数存在し公開までに至っていない。今年度は糸島市文化財整備基本計画を策定したので、今後は各史跡の整備計画策定に取り掛かり、市内遺跡の計画的な整備を進めなければならない。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	文化財の保護・活用
2 事業名	①文化財の保護・活用事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	<p>文化財が貴重な国民共有の財産であり、公共のために大切に保存する。</p> <p>地域と連携した保護活動によって文化財愛護思想の普及を図る。</p>
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財愛護思想の普及             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体との連携強化</li> <li>・文化遺産の保存と活用</li> <li>・文化財の価値の広報</li> </ul> </li> <li>○無形文化財の保存と活用</li> </ul>
6 取組状況	<p>指定史跡周辺環境整備事業として銚子塚古墳(2回)、姉子の浜鳴き砂海岸(4回)、二丈岳城(3回)、釜塚(4回)、平原遺跡(4回)、曾根遺跡群(3回)、井原1号墳(2回)、怡土城(6回)、塚田南遺跡(1回)の清掃・除草作業を行った。</p> <p>市内文化財用地管理事業として11行政区(三雲・三雲遺跡、高祖、大門、高来寺-怡土城跡、飯原-雷山神籠石、雷山-雷山の観音杉・雷山神社のイチョウ・雷山神籠石、油比-油比の殿川、平原-平原遺跡、志登-志登支石墓群、西堂-西堂古賀崎古墳、志摩新町-新町支石墓群)、1自治会(レガロ深江-塚田南遺跡)、2団体(泊井戸の会-泊産安の井戸、姉子の浜の鳴き砂を守る会-姉子の浜・鳴き砂)に清掃・除草・巡回作業を委託した。</p> <p>無形民俗文化財を保存・伝承している保存団体に対する補助として県指定高祖神楽育成補助金、市指定福井神楽育成補助金、市指定大入盆綱引き育成補助金を交付した。</p> <p>「伊都国散策マップ」を無料で配布するとともにホームページへも掲載し伊都国関連遺跡の紹介に努めた。</p> <p>歴史漫画「伊都国ロマン」5,000部を増刷し、歴史学習の副読本として市内小学校6年生全員に、伊都国の歴史の紹介として新しく糸島市に転入された方に配布した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p><b>□成果</b></p> <p>史跡地については、自治行政区等と連携して草刈り等の管理を行い、市民に憩いと歴史学習の場を提供することができた。</p> <p>「伊都国散策マップ」「伊都国ロマン」の配布は、市民が糸島の歴史に親しむファーストステップとなった。</p> <p><b>■課題</b></p> <p>史跡指定地が広範囲に及び、竹や高木の管理が必要な箇所が多くあるため計画的な施業が必要である。</p> <p>また案内板、説明板等の劣化が進み、文字等が判読できないものも見受けられる。今後は計画的に継続して説明板等の更新を行う必要がある。</p>

## 主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	文化・芸術の振興
2 事業名	①文化振興事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	<p>市民が身近で文化にふれ、鑑賞し、体験できる機会をつくり、自ら文化を創造していくことができる仕組みづくりや活動の場を提供する。</p> <p>文化団体と連携し文化事業を充実させるとともに、文化芸術関係団体を支援し自主的な文化芸術活動を促進する。</p>
5 事業の内容	<p>○文化事業の充実 ○文化芸術関係団体への支援。</p>
6 取組状況	<p>平成22年度には県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展」やアクロスレインボーコンサート等を開催したが、糸島市合併を記念し誘致したものであるため継続性がなく、優れた芸術文化の提供を継続的に行なうことが課題であった。そのため、これらの事業をきっかけとした2事業について平成23年度から市主催事業として継続的に取り組むこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糸島市立中学校美術部生徒作品展 H22年9月に福岡県立美術館所蔵品巡回展を志摩歴史資料館で開催した際、同館エントランスロビーで糸島市立中学校美術部生徒作品展を開催した。平成23年度からは伊都郷土美術館で開催することとした。 会期 11月22日～27日 入館者数 415人</li> <li>「みんなのコンサート」 平成22年度のアクロスレインボーコンサートは年度内2回開催（9月志摩地区、2月前原地区）であったため、主催事業として「みんなのコンサート」を3月に二丈地区で開催し、3地区でプロの音楽を楽しむことができた。「みんなのコンサート」は小さな会場でプロの音楽を身近に楽しむことができるため、平成23年度からは毎年2回開催することとした。</li> </ul> <p>平成23年9月25日(日) 前原公民館 弦楽トリオ（バイオリン、チェロ、ピアノ）とソプラノ声楽 85人 平成24年3月3日 志摩歴史資料館 アコーディオンカルテット 観客数 145人</p> <p>共催事業としては、糸島美術工芸展、糸島市吹奏楽祭などを開催した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果 作品展については、部活動で製作に取り組む中学生に対し定期的な発表の場を提供することができた。 コンサートは、市民が、無料で気軽に音楽を楽しむ場を提供できた。</p> <p>■課題 まずは、事業を定着させるため、事業内容の見直しも行いながら、継続していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糸島市立中学校美術部生徒作品展は、平成24年度から美術部が書道部と合体したため、作品展の開催方法を検討する必要がある。</li> <li>「みんなのコンサート」は担当者が変わっても一定の水準を確保できるよう、出演者の調整や段取りの手順、会場や開催時期について整理する必要がある。</li> </ul> <p>今後、市単独での実施が困難な文化事業については、側地域創造や側自治総合センター等の事業誘致を検討する。</p>

#### 4. 点検・評価に関する学識経験者からの意見

##### 「平成23年度糸島市教育委員会の点検・評価に関する報告書」に対する意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律27条2項の規定に基づき、標記の報告書に対し若干のコメントをさせていただきます。

まず、2頁から3頁の糸島市教育委員会の活動では、定例の教育委員会会議、学校訪問、各種研修会の状況についてまとめてあります。続いて、教育委員会審議案件の一覧があり、市町合併により糸島市が成立し、糸島市教育委員会が発足して2年目になり、定例の会議や学校訪問について、委員会としての職責を一層十分に果たしていることがうかがえます。また、昨年指摘した、教育委員自身の資質向上等の研修の機会などについても、資料から読み取れるようになりました。教育委員会のあり方についていろいろな議論が展開しておりますが、目的を明確にして実質的な議事に多くの時間をかけ、糸島市の教育行政がよりよい教育の実現を保障するため、いっそう充実したものとなるように願っております。

次に、施策の取り組み状況について、総括的な評価と具体的な主要施策の点検及び評価が4頁以降にまとめられています。4頁から5頁の総括的な評価については、「『生きる力』を育てる学校づくり」7項目、「生涯学習推進のための環境づくり」4項目、「スポーツ・クリエーションの振興」2項目、「文化・芸術のまちづくり」4項目の、計17項目について、4段階（A効果が上がっている／B概ね効果が上がっている／Cあまり効果が上がっていない／D改善の必要がある）で評価されています。17項目中、6項目がA、11項目がBであり、CとDの評価のついた項目はないという評価がなされています。

これらの一連の関連事業の取組状況について、昨年同様すべての領域にわたって及第点に達した成果を挙げている実感を持っていることは、行政として重要なことだと評価できます。また、6頁以降には、それぞれの項目についての、評価根拠となるような具体的な取組状況ならびに、成果と課題が記載されています。例えば、10頁の「『特別支援教育』の充実」についての「成果と課題、今後の方向性」からも分かるように、それぞれの評価根拠は具体的で妥当なものであり、年間を通してそれぞれの基本目標の達成に向けて実施された事業を通観することができます。昨年も触れましたように、実際には、ここに記載されている事業内容にとどまらず、各事業の下で複数のより具体的な事業が展開されていることだと思います。したがって、ABCDという評価点だけにとらわれず、各委員間で、また、各事業を担当する部署において、取組状況や成果と課題、今後の方向性を共有すること、とりわけ課題を共有し、その解決のための具体的な手立てを講じ工夫していくことが、3年目を迎えた今後の糸島市の教育行政の着実な展開に繋がるものだと考えます。

最後になりますが、上述したそれぞれの項目に掲げられている課題の解決や解決を通じたより一層の事業の充実のためには、制度的な根拠や財政的な裏付けが必要なものもあります。したがって、財政的な状況等厳しい中ではあると思いますが、単年度で性急な結果を求めるのではなく、具体的な改善の方向を、教育委員会だけではなく糸島市の教育にかかる関係各位が共通に認知し、それぞれが当事者意識をもって、改善の実現に努力されますことを願い、この報告書がその一助となりますことを祈念します。

平成24年9月18日

九州大学大学院准教授 田上 哲

5 資料

教育委員会委員名簿（平成24年3月31日現在）

区分	氏名
教育委員長	徳田 敬
委員（職務代理者）	仲西 まゆみ
委員	東田 紀元
委員	西 売 一郎
教育長	菊池 俊秀

平成23年度糸島市教育委員会組織機構図

